広報かじき

No.313
昭和56年 1月号

発行／加治木町
編集／総務課
印刷／吉屋印刷

迎春

新しい年一九八一年!!

ことしも町民のみなさんにとってよい年でありますように
ご健勝を心からお喜び申し上げます。

◆人口22,349(−13) 男10,670(−1) 女11,679(−12) 世帯数 7,317(−1) 55.12.1現在（　）前月比

教育委員会委員の任命や特別職・職員の給与・報酬を改正

十二月定例町議会

第四回定例町議会は、十二月十八日から二十五日までの八日間の会期で開かれ、町長など三役の給与、町議会議員などの報酬や費用弁償の改正、それに人事院勧告に伴う町職員の給与に関する条例の一部改正をはじめ、竜門司坂線道路新設改良工事請負変更契約などこれに伴う一般会計、特別会計の補正予算、教育委員会委員の任命など合わせて二十件の議案が審議され全部が原案どおり可決されました。

陳情については、二件が上程され採択されました。

条例関係

可決された条例関係で、主なものは次のとおりです。

特別職や職員給与条例の一部を改正

町特別職等報酬審議会の答申に基づき町長や助役、収入役それに教育長の給与改正、町議会議員の報酬及び費用弁償の改正、人事院勧告による町職員の給与改正が、次のとおり改定されました。

月額（　）内は旧月額

町長＝四十九万八千円（四十七万円）

助役＝三十九万四千円（三十七万二千円）

収入役・教育長＝三十七万二千円（三十五万一千円）

町議会議長＝十九万円（十八万円）

同副議長＝十五万五千円（十四万六千円）

同常任委員長＝十五万円（十四万一千円）

同議員＝十四万（十三万二千円）

町職員＝平均四・五四パーセント引き上げられました。

教育委員に任命された園田氏左と能瀬氏

町教育委員会委員に能瀬・園田氏を再任

任期満了に伴う町教育委員会委員に能瀬英次氏(六三)諏訪町、園田竹次郎氏(七二)木田を任命することに同意しました。

道路新設改良工事請負変更契約締結

先の議会で議決された竜門司坂線等道路新設改良工事請負契約について設計変更の必要を生じたため次のとおり請負変更契約を締結しました。

竜門司坂線三千七百十万円、千鳥線四千三百万円、木田本通線三千六百万円、町地域し尿処理施設整備二億四千六百六十七万三百八十四円

予算関係

今議会に上程された一般会計補正予算額は一億二千二百八十八万二千円で、予算総額は、四十七億七千百二十二万九千円となりました。

補正予算の主なものは、特別職や職員給与の改定額、萩原線等舗装工事費等であります。

気軽にご相談を 27人の民生委員決まる

町の民生委員、児童委員が三年間の任期満了となり、新たに二十七人が十二月一日付で厚生大臣及び県から委嘱されました。

新たに決まった委員の方と担当区域は次のとおりです。

氏名	部落	担当区域
堂免　久子	田中	竹下、川原、田中、西反土
鎌田やす子	萩原	柳田、萩原
岩元　博子	高井田	高井田、春日団地、空港団地
野間みよ子	口ノ町	蔵王団地、城、口ノ町、内原田
富岡　アヤ	札立	於里、札立、新富団地
立山　恒幸	垂之口	蒲生田、江湖、西町、垂之口、天神
竹内　親男	今町	今町、港町、下浜
前田　幹子	諏訪	小陣、諏訪、反土黒川
今村　鉄枝	吉原	里、吉原、東吉原、日木山黒川、日木山団地
田中　実	端山	端山、下新道、新町
岡山　秀樹	中塩入	向江町、南塩入、東塩入、中塩入
岩下　鉄男	岩原	岩原
岩崎　為男	西塩入	西江口団地、江口団地、西塩入
杉田　正秋	須崎	須崎、浜村
玉江　ハル	みろく	みろく、豊町、新中、西ノ原
坂元　重子	中福良	小鳥、楠園、中福良、上木田
後藤　重春	桃木野	菖蒲谷、曲田、桑迫、桃木野
永原　武男	永原	永原、隈原、丸岡、提水流
外村　豊二	嶽	嶽、ヒナバ
大宮路　任	辺川	市野々、市野、鶴原、辺川、道風
井上　福井	迫	迫、徳永
山下　純男	川内	宮田ケ平、新開、川内、市来原、地久里
日高　一夫	伊部野	毛上、麓、茶碗屋、伊部野
山元　重志	布越	布越、井手向、小田倉、高崎、岩穴口、御狩山
山口　直矢	赤谷	石野、西浦西、東木、赤谷、永山、くらかけ
坂元　一夫	中野	長谷、中野
山下　茂	楠原	弓削、楠原

年頭のあいさつ

迎春

町長　東國雄

町民の皆さん、明けましておめでとうございます。

輝かしい昭和五十六年の新春を迎えて、皆さんのご健勝とご繁栄を心からお祝い申しあげます。

さて、昭和五十五年を顧りみますと、国内外を問わず政治、経済各般にわたり多事、多難な年でありました。

町といたしましても、この一年間厳しい社会経済情勢の中にあって調和のとれた地域社会づくりをモットーに町民の福祉の増進と生活の安定向上を図るための農林商工漁業振興、あるいは、教育、福祉、保健衛生等の環境施設の整備や道路、その他各種生活基盤の整備充実に力を注いで参りました。

お陰をもちましてかなり多くの事業が達成し、また、懸案中の各面にわたる事業が緒につきましたことは、これもひとえに町民のみなさまの深いご理解と積極的なご配慮ご協力のたまものでありまして誠に感謝に堪えません。

さて、このような背景の中で、昭和五十六年の新年を迎えたわけでありますが、私はここに町長就任二期三年目を迎えるにあたり町民の生き甲斐と、希望を託するにたる加治木のまちづくりに一層の精進努力を重ね、町民の信頼と期待にこたえる決意であります。

申し上げるまでもなく町政施策の基本的な大綱は、昭和六十五年を到達目標とする加治木町総合振興計画にうたわれておりますが、昭和五十六年度は第四年次の年を迎えるわけで、この基本構想の指標とする文化的居住都市の実現、なかんずく四月から発足する統合中学校の最終的な施設整備をはじめとして道路、街路、公園、都市排水、上水道等の整備、農林商工漁業の振興や各般にわたる行政の推進など積極的に計画行政を進めて参りたいと考えております。御案内のとおり、昨今における国家財政は増税負担増、緊縮型予算の現状であり、国、地方を問わず、財政運営は、極めて厳しいものがあります。かような情勢の中で残された統合中学校の整備、さらには今後の大きな課題である四十五人学級から四十人学級への移行に伴う仮称「第三小学校」の建設、役場の中学校跡地への移転、その他地域住民の日常生活に直結する各種事業の促進を考えるときまさに胸の痛む想いがいたします。

町民の皆さん、内外情勢まことに厳しい状況の下にありますが、心を新たにして関係機関の協力を得ながら、役場職員協力一致、国、県の施策を積極的に導入して、財源の確保と冗費節約につとめ、町民各位の要請にこたえるよう最大の努力をいたします。

今後共町民の皆さんの町政に対する一層のご協力をお願い申しあげ皆さまのご健勝とご多幸を祈念して新年のごあいさつといたします。

躍進

町議会議長　山崎昭

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、冷夏ということで、全国的な水稲の不作が伝えられましたが、南国の鹿児島はたいした被害もなく、台風もそれてしのぎやすい夏でした。それでもやはり夏と冬は、暑さ寒さが身にこたえます。

高齢者の方々を始め、皆さんお元気でしょうか。

さて、昨年の新年のごあいさつで、

○気分を一新したやる気の政治

○町財政の健全化などなど

エンジンを全開させて、町政飛躍の年となるように提言をしました。

昭和五十年ごろからオイルショックも重なり、極度な財政悪化を招いていましたが、一昨年、昨年と建設事業に回す経費が増え、いま加治木町は、堅実な前進をしつつあります。

統合中学校の完成も間近ですがこれに関連して通学路の整備、道路や下水、駐車場問題など、幾つもの懸案事項に加えて、今年は、給食センターや保育所の建設、役場庁舎の移転改築、新議事堂の建設高岡公園の完成と夢のふくらむ事業が一ぱい待っております。

事業量が大きくなるほどに、自治体の財政も大変なものがあります。

いま、加治木町の地方債（町の借金）は、二十億円を超えていますが、無駄のない行政を進めるため、行政改革は常に考えねばなりません。

すべてを行政におんぶされずに自分たちでできることがあれば、地域で話し合って実行する。それも行政の簡素化につながります。

行政に対する住民のご要望は、限りなくございますが、議会は、これに対応して最善の努力を尽して参ります。

昭和五十六年の年頭に当たりまして、皆さまのごべんたつとご協力を心からお願い申し上げ、町政躍進の年となりますように、そしてまた、町民の皆さまがご健勝でありますように、心から祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

1981年
昭和56年

国際障害者年

〈テーマ〉
完全参加と平等

昭和五十六年、今年は「国際障害者年」です。

国際障害者年の目的は、障害を持つ人の社会への「完全参加と平等」という目標の実現を進めることとされています。

「参加」とは単なる社会生活への参加にとどまらず、さまざまな分野で社会の発展に貢献することを意味します。また「平等」とは障害者であるために不平等な扱いを受けることなく、経済的、社会的に他の一般の人と同じ生活を送ることができることにあります。

わが国では、約三百五十万人以上の人が心身に障害をもっていると推定されています。また、脳卒中の後遺症などによる障害者や、交通事故などによる障害者が年々増加する傾向にあります。障害者問題は、単に障害をもつ人だけでなく、わたしたち一人ひとりが自分自身の問題として理解し幅広い社会的な連帯意識をもって解決していかなければなりません。

★国際障害者年の五大目的

国連は、この国際障害者年において、次の五大目的を実現するために努力することを決定しました

ア、障害者が身体的にも精神的にも社会に適応することができるように援助すること。

イ、障害者に適切な援助、訓練、医療及び指導を行うことによって、適切な仕事につき、社会生活に十分に参加することができるようにすること。

ウ、障害者が社会生活に実際に参加できるように、公共建築物や交通機関を利用しやすくすること。

エ、障害者の経済的、社会的、政治的活動への参加の促進について広くPRすること。

オ、障害者の発生の防止及びリハビリテーションのための対策を推進すること。

お母さんに見守られて歩行訓練

わが国でも、国際障害者年について積極的に取り組むため、内閣総理大臣を本部長とする「国際障害者年推進本部」を設け「国際障害者年推進方針」を決定するなど障害を持つ人の社会への「完全参加と平等」という目標の実現に向けて積極的に動き出しています。

特別養護老人ホームを訪問

錦江小の児童

錦江小学校の児童六十人は、去る十一月二十九日、特別養護老人ホーム「望岳園」を訪問し、ホームのお年寄りといっしょになって楽しいひとときを過ごしました。

錦江小は、ボランティア協力校に指定されて以来さまざまなボランティア活動を行っていますが、今年はお年寄りとの交流を中心に地域の人々との結びつきを深め、自分たちにできる楽しい地域づくりに努力しようと、一学期から計画をたてました。なかでも、この「望岳園」訪問は、子どもたちが最も楽しみに待っていたもので、器楽クラブや合奏部、バトンクラブの六十人が訪問しました。

当日は、初冬というのに明るい太陽に恵まれ、暖かい絶好の日よりでありました。お年寄りたちは子どもたちの開演を早くから待ち望んでおられるとのことで、みんなはりきっていました。

子どもたちの演奏が始まると手拍子をとられ、涙ぐんだり、身をのりだしながら、くいいるように見つめておられました。

「良かった、ほんとうに来て良かった。」と、子どもたちは心からそう思いました。と感想をのべていました。

お年寄りたちは、演奏が終わり「また来年も来ます。どうぞお体をたいせつに。」と子どものあいさつに、なごりおしそうに、じっと見つめておられました。

たち去りがたい思いを胸に、来年の訪問を約束しながら子どもたちは「望岳園」を後にしました。

（原稿は栗山先生からいただきました。）

器楽演奏のサービスをする児童

特設人権擁護相談所

町長も一日擁護委員

第三十二回人権週間は、十二月四日から十日まで実施されましたが、加治木人権擁護委員会では初日の四日、町長代理収入役を一日人権擁護委員に任命して、特設人権相談所を町福祉センターで開設しました。

当日は、金融、相続、土地、財産、結婚問題等に数多くの相談があり、特設相談所開設の意義を深めました。

また、当日の昼間、加治木支局長を初め委員の方々が、蒲生田通りの街頭でマッチやビラ等を配り人権に関する趣旨を訴えました。

収入役一日人権擁護委員に

話題

20周年を記念して
救急車を寄贈

私たち住民の生命を守る救急車この救急車一台が、このほど株式会社タイヨーから本町に贈られました。

これは、同タイヨーが昭和三十五年創業以来二十周年を記念して県下にチェーン店がある市町村に役立ててもらいたいと贈られたものです。

贈呈式は、十一月二十六日、町長らが出席して鹿児島市で行われました。

贈られた救急車

寄贈された救急車は、二〇〇〇CC九人乗り冷房付で、酸素吸入装置等近代的な装備付き、町では姶良郡消防署で活躍してもらうことにしています。

フラワーポットに花の植付けをする女子高生

国道沿いをきれいに
花植えや空きかん拾い
加治木女子高の生徒

加治木女子高校（村田正明校長三五〇人）は十二月十九日、全校あげて、国道沿い等に花の植え付けや慰問等ボランティア活動を行いました。

同校は、県からボランティア協力校として指定され、いろいろな活動を続けていますが、この日は南九州病院で難病と闘いながら入院生活をおくっている筋ジスの子どもや、望岳園のお年寄りたちの慰問、そして国道や駅前等の空かん拾いや、沿道に花の苗を植えました。苗は、同校で育てた葉ボタンで、一本一本ていねいに植えました。

老人給食施設に補助
日本小型自動車振興会

老人給食の業務を委託している特別養護老人ホーム「望岳園」の給食施設に、このほど日本小型自動車振興会（東京）が五百八十九万円の補助をし、立派な設備が整い、老人たちや入園者に大変喜ばれています。

町では、昭和五十三年から在宅老人や独居老人を対象に給食のサービスを毎週木曜日、この望岳園で二十人位ずつ行っています。

新しく設備されたものは、大型冷凍冷蔵庫やガス回転釜等で、お年寄りたちは、この施設で作った食事をとりながら入園者と交流をし、食事のあとは、レクリエーション等を楽しみ感謝しています。

稚貝を放流
魚礁も投入
錦海漁協

錦海漁協（春山鉄翁組合長）では、十二月五日にあさりの稚貝六トンを須崎海岸と山野海岸に放流、また、魚のアパート魚礁も十二月十八日、重富沖に投入しました。

放流された稚貝は、熊本の玉名から運ばれてきたもので須崎海岸に三トン、姶良町の山野海岸に三トンが放流されました。

本年の稚貝は比較的に大きく一・五㌢大のものでしたが三月の解禁時には、さらに大きくなり、親子づれや各グループによる潮干狩りでにぎわうことでしょう。

県沿岸事業の一つとして設置される魚礁は、並型魚礁で百五十個が姶良町の脇元二百五十㍍沖合、水深三十五㍍の海底に投入されました。

稚貝を小舟に積み込む漁協の人たち〝加治木港〟

地域社会振興に貢献
全国公民館表彰
坂元中央公民館長

昨年十二月四日、東京赤坂プリンスホテルで開催された第二十九回全国公民館振興大会において、町公民館長坂元秋雄（五二）社会教育課長兼務が、全国公民館永年勤続職員として、社団法人全国公民館連合会から表彰されました。

坂元公民館長は、昭和二十九年に町公民館に入り、以来一時期町長部局に勤務したほかは、今日まで十七年間に及ぶ公民館勤務で、この永年の公民館職員としての職務の精励と、地域社会の振興に貢献されたとして表彰されたものであります。

永年勤続全国表彰の坂元公民館長

婦人のコーナー

あけまして
おめでとうございます。
一年の計は元旦に!!とか、どんな計画がたてられたことでしょうか。
とりに負けないように大きくはばたきたいですネ—。

ゆたかなふるさとは婦人の力で

—第三回町婦人大会開催—

十二月七日の好天に恵まれた日曜日、柁城小体育館において第三回加治木町婦人大会が開催されました。

「すべての婦人が手をつなぎ、ぬくもりにみちた町づくりをすすめよう。」を大会テーマとし、町内各婦人の団体から二百人が参加、町長、教育長、議会議長、公民館長と多くの来賓の方々も列席していただき意義ある会にすることができました。

県婦人団体連絡協議会長の南ツギエさんが「天の半分を支える婦人の力」と題して講演がありましたが、その中で婦人が手をつなぎ組織として動くことの大切さ、すばらしさ、力強さを自分の体験を通して話されました。加治木の町づくりは、私たち婦人の働きにかかっていると言えそうです。

このあと、「ぬくもりにみちた豊かで住みよい町づくりをすすめるために」のテーマで城北地区公民館長の鎌田さん、町婦連会長の西迫さんの提言があり、それにもとづき熱心に討議がなされました。

婦人のみなさん、自分の生き方を今一度反省してみましょう。そしてあなたの力もぜひ町づくりに役立てましょう。今年はとり年、大きくはばたきたいものです。

ご協力ありがとう

—複十字シール—

結核予防婦人会では先に複十字シール運動を展開しましたが、会員の方々にはその主旨をよく理解していただき、ご協力いただきありがとうございました。

おかげで目標を達成することができました。今ごろは年賀はがきにはられたシールが、皆さんのお友達へ〝おすこやかに〟と呼びかけ、結核、0への働きをしていることでしょう。自分の手で健康を、ぜひ今度は町民のみなさんにシール一枚運動として協力していただきたいと思います。

ゴミすて場は
いつも清潔にし
その日の朝に
出しましょう。

母と子の会話

いじめる・いじめられる 対人関係を身につける〝場〟

子供たちの遊びの中では、いじめる=いじめられる、という関係がどうしても出てきます。

自分の子供がいじめてばかりあるいはいじめられてばかりですと、間に入って仲裁したり、口出ししたくなるものですが、一般的には子供たちだけに任せておくのが賢明な場合が多いようです。

ただし、相手にケガをさせてしまったり、ケガをさせられたりするような場合は、「してはいけないこと」として、きっぱりやめさせましょう。

子供は、いじめたり、いじめられたりといった遊びを通して、〝人とのつき合い方〟を学んでいくものです。なるべく大勢の子供と遊ばせるようにしましょう。

体の弱い子、乱暴な子、内気な子、自分勝手な子……いろいろな性格の子とつきあうことで、自分と他人との違いを知り、自主性や思いやりなどの対人意識を持つようになります。

自分の子供が、いじめられてばかりいるからといって、友達から引き離してしまうのは、場合にもよりますが、考えものです。いじわるをされても、それにくじけず仲間に加わろうとする子供は、ある面ではたくましく、人のことを思いやるリーダー的な存在に育つことが多いといわれます。「いじめられた」と泣いて帰ってきても、ケガなどがない場合、子供どうしの関係にあまり干渉しない方がよいでしょう。

一方、弱い者いじめをする子供には、「かわいがられたい」という欲求が満たされていないことが多く、それが逆の面に出ていじわるとなることがあるようです。

この場合、ただしかってみたところで効果はありません。自分がかわいがられていることを感じさせるなど、お母さんのやさしい愛情が必要でしょう。

いじめっ子には、他人への〝思いやり〟を育てていくようにしたいものです。

竜門句会

忽忙の日暮早しや冬菜もむ　能勢真砂子
義肢を折る如く炬燵に膝を入れ　恒吉　斗南
本堂の背な薄くして風邪の僧　古江　重美
草枯れて牧はしづもり夕日射す　上野　光
涸れてなほ一すじの川郷分つ　川崎　黒兎
車椅子押されて歩道落葉踏む　田代　俊泉
折り込みのばさりと落ちし十二月　横山　江南
遠山のいま明けそむる枇杷の花　鶴田　耕
朝焼けに水尾曳く鮎や渡り鳥　加藤　白柳
故里の訛きく日や茶が咲いて　井之上透山
無為にして賀状版画彫りつあり　高木　正男
噴く島の遥かなりけり茶が咲きて　大迫　スミ
杉山のしづく疎らに秋時雨　宮脇　思川

心配ごと相談

毎週木曜日午前中
町福祉センターで
受けています。

豊かでぬくもりに満ちた農村に

第二回町農業祭

第二回加治木町農業祭は、昨年十一月三十日、加治木中学校で開催されました。

この日は、晴天に恵まれ、会場には各種資料や展示即売等が設けられ、観覧者を楽しませました。

式典では、本年度林業部門等で活躍された樗木隆義さんら五人の表彰や、富永久江さんら五人が体験発表を行い、「今日のきびしい農業に対応するため農業振興地域整備計画を策定し、農村に住むすべての人々の自主的意欲の向上と、豊かで、ぬくもりに満ちた農村社会づくりをいたしましょう。」と、宣言文が採択されました。つづいて郷土芸能、太鼓踊りや各グループ代表者による演芸大会が行われました。

グラウンドの会場には、農林畜産、緑化樹等の展示即売が行われ人気をよびました。

生活改善展示コーナー

最優秀賞に選ばれた市野さんの牛

緑化樹等の展示即売

県郡肉畜共進会で

最優秀賞

第三十一回姶良郡肉畜共進会は十二月二日、姶良中央家畜市場で開かれ本町から次の五頭を出品、団体で二位の優秀な成績をおさめました。

個人成績は次のとおりです。

雌牛の部

最優秀賞＝市野久子（小山田）石原五男（木田）

優秀賞＝高崎勝（小山田）

去勢牛の部

最優秀賞＝市野親義（小山田）

優秀賞＝同

第三十回県肉畜共進会は、十二月十七日から十九日まで鹿児島家畜市場で開かれ本町から次の二頭が郡代表として出品されました。

市野さんは、県肉畜共進会に出品十回目という努力家であり今回も輝かしい実績でありました。

雌牛の部

最優秀賞＝市野久子（体重六四八キロ）

去勢牛の部

優秀賞＝市野親義（体重六六三キロ）

審査報告として「今回の出品数は、雌二十四頭、去勢五十六頭、計八十頭で審査は、消費者の動向を考慮し、本県肉用牛の銘柄確立を図るため新しい審査基準に基づき審査された。

体型的には、粒が揃い肉質に関係があるといわれる資質において被毛、皮膚、骨味の良いものが多く厚脂が極めて少く喜ばしいことであります。これは計画交配、適正な飼養管理の成果と考えられる。惜しい点は、角の大きいもの、顔品のないもの、肢蹄の悪いもの、ややしまりの足りないものが散見されますので尚一層のご努力を望みます。」と講評がありました。

おしらせ

保育所の入所申請

一月二十四日まで

本年四月から町内の保育所に入所を希望される方は、次のとおり受け付けを行っています。

○受付期間　一月六日（火）から一月二十四日（土）まで

○申請書　町役場福祉課にあります。

現在入所している児童も改めて提出してください。（永原保育所は、直接保育所に提出）

○募集定員　加治木六十人、小山田六十人、川野九十人、高井田六十人、実窓寺六十人、かずみ六十人、永原五十二人

○入所基準　児童の父母等が昼間仕事等で児童の保育ができない場合。

たこあげは電線のないところで

たこあげの季節となりました。毎年この時期になりますと、電線にかかったたこをとろうとして感電事故が多発しています。

○たこは、電線の近くでは絶対にあげないようにしましょう。

○たこをとろうとして電柱にのぼったり、電線を竹ざおなどでつつくのは危険です。

○万一たこが電線にかかったときは、さわらず、九州電力営業所へ連絡しましょう。

町内一周駅伝

とき　一月二十五日（日）

コース　図書館前十時出発

小山田～辺川～永原～木田～竹下橋～図書館

うぶ声

十一月二十一日から十二月二十日まで受付分

出生者	保護者	部落
池袋英樹	孝之	柳田
恒吉康弘	清治	浜村
四村絵里	邦徳	中福良東
取違　剛	辰美	日木山団地
川上新吾	義夫	毛上
長谷真理	健一	吉原
松永美奈	英雄	西ノ原
上野樹里	豊	柳田
東川内修	俊一	萩原
四元秀和	義次	端山
長野由佳	祐作	日木山団地
大坪健一	満正	里ノ下
大坪康治	満正	里ノ下
重留大介	育雄	弥勒
福田康太郎	成康	上浜
福丸亜寿沙	忠行	春日団地
益満信吾	常男	蔵王団地
末吉徹也	健一	西江口団地
新賢一郎	寿	岩原西

記事訂正のお知らせ

十二月号うぶ声の記事中、次の氏名が間違っていました。おわびしてお知らせします。

山口晋之介　洋平　西江口団地

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　永原　上平田政一（静59）

二万円　垂ノ口　徳田芳隆（文香0.5）

三万円　鞍掛　湊　洋行（エイ85）

二万円　布越　畠中エツ子（近良49）

二万円　向江町　堀　良継（軍吉77）

二万円　市野　鹿島ツルエ（香取59）

二万円　里の上　上小牧ナツエ（重雄69）

二万円　菖蒲谷上　鶴　ヨシ（源之助84）

二万円　竹下　曽木孝子（米吉44）

二万円　竹下　矢富則義（麻希1）

三万円　柳田　本村ミエ（栄蔵80）

二万円　岩原西　杉本重雄（重行70）

三万円　東諏訪　大野ムツ（四男65）

二万円　小田倉　元山春男（善裕22）

五万円　上東木　南原ミ子（鉄夫55）

三万円　岩原西　西イク（秋則72）

三万円　新中戎　一男（栄蔵79）

二万円　小田倉　宮脇チカ（亀中ケサギク82）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　布越　畠中エツ子（近良49）

二万円　東諏訪　大野ムツ（四男65）

二万円　上東木　南原ミ子（鉄夫55）

二万円　新中戎　一男（栄蔵79）

県知事選挙、県議会議員補欠選挙（姶良郡区）の投票日は二月八日（日）です

今月は、町民税四期国保税五期の納期です。